

平成25年度 広報モニター会議

日時 平成25年5月17日 (金)16時00分

場所 安平町役場早来庁舎2階 第2会議室

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 町長あいさつ

4. 安平町広報モニターの紹介

5. 町からの連絡

・ 広報モニターの業務内容

(別紙「広報モニター業務内容」にて説明)

モニター：町長のお話の中で「広報委員」と言っていたが、現在、「広報委員」は？

事務局：以前は広報委員会があったが、広く皆さんの意見を聞くためモニター制度を導入した。

・ 広報紙の作成

(別紙「広報紙の作成について」にて説明)

モニター：編集後記を見ると2名で作成しているようだが、内容については課長会議などでチェックされているのか。

町：最終的に出来上がってから決裁を回付するが、その際に記事内容にストップがかかる場合もある。

モニター：JRの社内報などは、各機関区から管理職が集まってチェックしてから発行している。役場もそうしているのか聴きたかった。

町：課長会議は開催していないが、記事掲載をする段階で町長・副町長まで決裁を行っている流れとなっている。

6. 広報の顔「表紙」について

町：道内外でも評価されている恵庭市の広報を資料にして、モニターのご意見を伺いたい。

参考として恵庭市の広報紙はとてもよくできていて、コンクールなどで賞を獲得している。

特集を連想させる斬新な表紙はどう思うか。

モニター：今のままで良いのでは。町民がついてこない。

モニター：恵庭市の広報は良く考えて作られていると思う。これを安平町の担当が表紙のために企画会議を行うのは大変な時間がかかるのでは。確かに恵庭市の広報紙は「次はどんな広報だろうと」楽しみになる。（安平町の表紙）写真だと、写っている人に関係している人などは嬉しく思うだろうけど。

町：奈良県香芝市の広報の表紙はどう思うか。安平町と同じく写真を使った表紙から一新して、特集をイメージする表紙を採用している。また、安平町と同じく月2回発行しているが広報笑顔（スマイル）と同じようにお知らせを集約したものを作成している。

モニター：安平町も同じようにカラーにはできないものか。カラーだと見やすい。

モニター：お金のことは言いたくないが、せめて正月号だけカラーになれば。

町：皆さんの意見を参考に予算の方を考えていきたい。

モニター：斬新な表紙にするのであれば、やはりカラーが目を引き。中身が白黒でも。

正月だけでもカラーになれば、みんな見てくれるのでは。

モニター：目次があると、なお見やすい。大きな見出しは目を引く。

町：見出しを大きくするのは、お金をかけず、すぐ着手できる。

モニター：事業のお知らせでチラシを発行しているが、みんな見ていない。集まりが良くない。聞くと「知らない」と答える人が多い。これでは事業をやっても意味がないし、なくなってしまふのでは。広報をつくるだけでなく、口で知らせることも広報。

モニター：広報とチラシが分かれていると、後で探せないこともあるので、全てまとめて欲しい。

町：今現在の表紙デザインはどう思うか。あえて、目次を裏面にして、特集の見出しを大きくするなど、興味付けにならないか。目次はあった方が良いか。

モニター：今のまま、見出しを大きくすることはどうでしょうか。特集など見て欲しいものは大きくする。

町：6月号からそのようにしていきたい。

モニター：以前の写真よりもぼやけているのでは。くっきりしていないような気がする。

町：機械でやっているから調整できると思うが、確認してみる。

モニター：昔は、広報に子どもが載っていたら、「記念に」とその家庭に1部余計に配っていたが、今はしていないのか。

モニター：掲載している写真を欲しいと言ったら、くれたことがある。

町：連絡があれば、写真を分けることも可能。写真が載っている人についても、わかっている人であれば1部渡すこともできる。

町：広報に掲載するなどして、そういったことPRしていきたい。広報紙はすぐに渡せるが写真はデータ化しているので。以前のようにプリントしてお渡ししたい。

町：懸念しているのは、「この子は何処の子だろう」という興味から、余計に欲しいというのは困る。

カラー刷りに関しては、経費を含めて次回までの確認事項とした。

町：PR（前述の写真渡しなど）をどの面に記載したらよいか。表紙に写真に載せるのは体

